

「令和5年度 新鮮いわて農業チャレンジ体験研修レポート (No.19)」

■ 研修時期・研修先

時期：令和5年11月23日（木・祝）

研修先：株式会社いわて若江農園（盛岡市）

■ 研修生について

Uさんは、実際の農園ではどのような働き方をしているか体験したい。また、栽培品目の選定や栽培方法、新規就農するために必要な準備及び農業経営について学びたいとお申込みいただきました。

■ 研修先の概要

（株）いわて若江農園は、設立は平成28年1月、栽培面積は63a、環境制御機器を導入しトマトを専業に通年栽培、通年出荷、通年雇用を行っています。

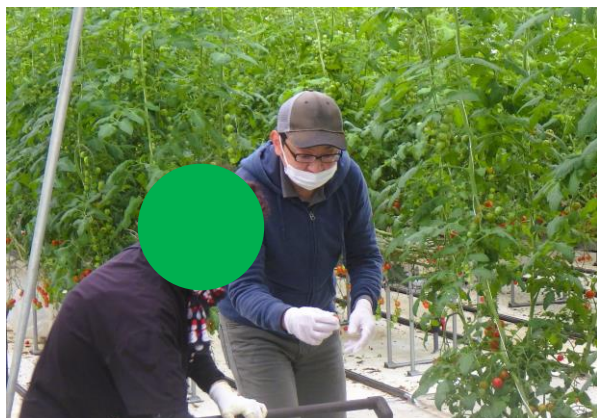
大玉トマトの収穫量は、40t/10a（県平均の約6倍）、令和3年度販売高は、7千万円、従業員は、17名（社員・パート）を雇用し、運営しています。

次の担い手の経営モデルになればと研修生の受入に積極的に取り組んでいただいております、今回の体験研修で、今年度は3回目となりました。

【HP】 https://agri.mynavi.jp/2020_07_01_120709/

※「マイナビ農業」タイアップ記事

【FB】 <https://www.facebook.com/wakaefarm/>



■ 研修の内容

ミニトマトの収穫・パック詰め、施設見学、新規就農にあたっての作物選定・栽培面積、農家等での研修期間、農業大学校での勉強、新規就農資金についてのガイダンス。

■ 研修の感想

- ・ 農園運営のイメージを掴むことができました。施設野菜の栽培方法や設備の説明をしていただき、自分がどういう農業をやっていかたいかイメージも掴めました。
- ・ トマトを選んだ理由について、1粒の種から手をかければかけただけ、果菜類は収量が上がるとの説明を、代表より聞くことができてよかった。
- ・ 新規就農する際の研修期間、栽培規模や資金調達についても説明いただき勉強になりました。



■ 今後の目標等

- ・ 農業は、手をかければたくさん収穫でき、たくさん販売できるところに魅力を感じました。時期は、まだ決まっていないが独立自営で始めたいと考えています。